

平成31年度茨城大学工学部一般入試における入学者選抜方法及び配点の変更について

平成30年4月10日
茨 城 大 学

茨城大学工学部では、以下の2項目について、平成30年度に実施する平成31年度一般入試（前期日程・後期日程）の選抜方法及び配点を変更いたします。

変更点1：

「大学入試センター試験得点と個別試験得点を合わせた合計点」だけで合格を判定するようにしました。これまで併用されていた「大学入試センター試験得点のみの配点で決まる合計点」は、廃止されました。これに伴って、個別試験受験者のみが合格判定の対象者になります。

変更点2：

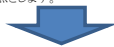
大学入試センター試験と個別試験について、理系科目を重視した配点に変更しました。特に、理系科目で得点の高い科目を更に合計点に加算する傾斜配点を強化しております。

詳細については、次ページ以降を参照願います。

【変更前】

学部	学科・課程等	日程	大学入試センター試験の利用教科・科目等			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													備考				
			教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	小論文	実技	面接	プレゼンテーション	集団活動		配点合計			
工学部	昼間コース	前期	国	国	1	A方式 個別学力検査は課しません ②科目受験した場合は、第1解答科目として解答した科目となります*1)	数学*2 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B 理科*3 物(物理基礎・物理) 外国語*4 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ 英語表現Ⅰ)	センター試験	200	100		300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300								1300			
			地歴	世B、日B、地理B	から1				個別学力検査															0	
			公民	現社、倫、政経、倫・政経					計	200	100		300		400	300								1300	
			数	①数Ⅰ・数A	1			計2科目	センター試験	200	100	100	100	200(100+100)	200										900
				②数Ⅱ・数B	1				個別学力検査				150		150	100									400
				②物、化、生、地	1			物理かつ物理以外を1(計2科目)	計	200	100		350		350	300									1300
			理外	英	1	(5教科7科目)																			
		A方式(大学入試センター試験のみ)合計点とB方式(大学入試センター試験及び個別学力検査)合計点を比較し高得点の点数を利用し、合否判定を行います。なお、個別学力検査未受験者は、A方式の合計点を利用し、合否判定を行います。																							

- *1 工学部昼間コース機械システム工学科(前・後期日程)において大学入試センター試験で課す「地理歴史・公民」で2科目を受験した場合は「第1解答科目」として受験した科目の成績を用いるため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していないと出願することはできません。
- *2 工学部昼間コース機械システム工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容を指定します。【数B(数列、ベクトル)】
- *3 工学部昼間コース機械システム工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。
[物理]:物理基礎、物理の全項目を出題範囲とします。
- *4 工学部前期日程B方式及び後期日程の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、外部検定試験のみなし得点と個別学力検査の得点を比較し、高得点の点数を採用します。
ただし、工学部前期日程B方式及び後期日程を受験する者は、外部検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。外部検定試験のみなし得点換算表は、p.38に示しています。
- *5 工学部昼間コース機械システム工学科の前期日程(A方式)の配点は、大学入試センター試験の「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。
- *6 工学部昼間コース機械システム工学科の前期日程(A方式)の配点は、大学入試センター試験の「理科②」の高得点科目の成績を3倍して、合計400点とします。



【変更後】

学部	学科・課程等	日程	大学入試センター試験の利用教科・科目等			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													備考				
			教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	小論文	実技	面接	プレゼンテーション	集団活動		配点合計			
工学部	昼間コース	前期	国	国	1	数学*2 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B 理科*3 物(物理基礎・物理) 外国語*4 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ 英語表現Ⅰ)	センター試験 個別学力検査 計	200	100		300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300									1300			
			地歴	世B、日B、地理B	から1			(2科目受験した場合は、第1解答科目として解答した科目となります*1)					300((200)+100)*7	100									400		
			公民	現社、倫、政経、倫・政経						200	100			1000	400									1700	
			数	①数Ⅰ・数A	1			計2科目	センター試験	200	100	100	100	200(100+100)	200										900
				②数Ⅱ・数B	1				個別学力検査				300		300	100									400
				②物、化、生、地	1			物理かつ物理以外を1(計2科目)	計	200	100		600		400	400									1700
			理外	英	1	(5教科7科目)																			
		A方式(大学入試センター試験のみ)合計点とB方式(大学入試センター試験及び個別学力検査)合計点を比較し高得点の点数を利用し、合否判定を行います。なお、個別学力検査未受験者は、A方式の合計点を利用し、合否判定を行います。																							

- *1 工学部昼間コース機械システム工学科(前・後期日程)において大学入試センター試験で課す「地理歴史・公民」で2科目を受験した場合は「第1解答科目」として受験した科目の成績を用いるため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していないと出願することはできません。
- *2 工学部昼間コース機械システム工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容を指定します。【数B(数列、ベクトル)】
- *3 工学部昼間コース機械システム工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。
[物理]:物理基礎、物理の全項目を出題範囲とします。
- *4 工学部前期日程及び後期日程の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、外部検定試験のみなし得点と個別学力検査の得点を比較し、高得点の点数を採用します。
ただし、工学部前期日程及び後期日程を受験する者は、外部検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。外部検定試験のみなし得点換算表は、決まり次第公表します。
- *5 工学部昼間コース機械システム工学科(前・後期日程)の配点は、大学入試センター試験の「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。
- *6 工学部昼間コース機械システム工学科(前・後期日程)の配点は、大学入試センター試験の「理科②」の高得点科目の成績を3倍して、合計400点とします。
- *7 工学部昼間コース機械システム工学科の前期日程の配点は、個別学力検査の「数学」と「理科」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。

【変更前】

学部	学科・課程等	日程	大学入試センター試験の利用教科・科目等			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													備考				
			教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	小論文	実技	面接	プレゼンテーション	集団活動		配点合計			
工学部	電気電子システム工学科	前期	国	国	1	A方式 個別学力検査は課しません ②科目受験した場合は、第1解答科目として解答した科目となります*1)	センター試験 個別学力検査	国語	200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300									1300			
			地歴	世B、日B、地理B	から1			センター試験	200	100	300	400	300										0		
			公民	現社、倫、政経、倫・政経				センター試験	200	100	100	100	200(100+100)	200										900	
			数	①数Ⅰ・数A	1			計2科目	個別学力検査	理科*3 物(物理基礎・物理)	数学①			150			100								400
				②数Ⅱ・数B	1						理科*4 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ)	200	100	350	350	300									1300
			理	②物、化、生、地	物理かつ物理以外を1(計2科目)			B方式 個別学力検査 A方式(大学入試センター試験のみ)合計点とB方式(大学入試センター試験及び個別学力検査)合計点を比較し高得点の点数を利用し、合否判定を行います。なお、個別学力検査未受験者は、A方式の合計点を利用し、合否判定を行います。	数学*2 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ)	センター試験	200	100	100	100	200(100+100)	250								950	
		外	英	1		個別学力検査						300			150							450			
					(5教科7科目)		計			200	100	500			200	400							1400		
							センター試験			200	100	100	100	200(100+100)	250								950		
							個別学力検査						300			150							450		
							計			200	100	500			200	400							1400		

- *1 工学部昼間コース電気電子システム工学科(前・後期日程)において大学入試センター試験で課す「地理歴史・公民」で2科目を受験した場合は「第1解答科目」として受験した科目の成績を用いるため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していないと出願することはできません。
- *2 工学部昼間コース電気電子システム工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容指定します。【数B(数列、ベクトル)】
- *3 工学部昼間コース電気電子システム工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。
【物理】:物理基礎、物理の全項目を出題範囲とします。
- *4 工学部前期日程B方式及び後期日程の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、外部検定試験のみなし得点と個別学力検査の得点を比較し、高得点の点数を採用します。
ただし、工学部前期日程B方式及び後期日程を受験する者は、外部検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。外部検定試験のみなし得点換算表は、p.38に示しています。
- *5 工学部昼間コース電気電子システム工学科の前期日程(A方式)の配点は、大学入試センター試験の「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。
- *6 工学部昼間コース電気電子システム工学科の前期日程(A方式)の配点は、大学入試センター試験の「理科②」の高得点科目の成績を3倍して、合計400点とします。



【変更後】

学部	学科・課程等	日程	大学入試センター試験の利用教科・科目等			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													備考				
			教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	小論文	実技	面接	プレゼンテーション	集団活動		配点合計			
工学部	電気電子システム工学科	前期	国	国	1	A方式 個別学力検査は課しません ②科目受験した場合は、第1解答科目として解答した科目となります*1)	センター試験 個別学力検査	国語	200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300									1300			
			地歴	世B、日B、地理B	から1			センター試験	200	100	300	400	100										400		
			公民	現社、倫、政経、倫・政経				センター試験	200	100	100	100	200(100+100)*7	400										1700	
			数	①数Ⅰ・数A	1			計2科目	個別学力検査	理科*3 物(物理基礎・物理)	数学①			1000			400								
				②数Ⅱ・数B	1						理科*4 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ)	200	100	300	300	300									1300
			理	②物、化、生、地	物理かつ物理以外を1(計2科目)			B方式 個別学力検査 A方式(大学入試センター試験のみ)合計点とB方式(大学入試センター試験及び個別学力検査)合計点を比較し高得点の点数を利用し、合否判定を行います。なお、個別学力検査未受験者は、A方式の合計点を利用し、合否判定を行います。	数学*2 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ)	センター試験	200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300									1300	
		外	英	1		個別学力検査						300			100							400			
					(5教科7科目)		計			200	100	600			400	400							1700		
							センター試験			200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300									1300		
							個別学力検査						300			100							400		
							計			200	100	600			400	400							1700		

- *1 工学部昼間コース電気電子システム工学科(前・後期日程)において大学入試センター試験で課す「地理歴史・公民」で2科目を受験した場合は「第1解答科目」として受験した科目の成績を用いるため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していないと出願することはできません。
- *2 工学部昼間コース電気電子システム工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容指定します。【数B(数列、ベクトル)】
- *3 工学部昼間コース電気電子システム工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。
【物理】:物理基礎、物理の全項目を出題範囲とします。
- *4 工学部前期日程及び後期日程の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、外部検定試験のみなし得点と個別学力検査の得点を比較し、高得点の点数を採用します。
ただし、工学部前期日程及び後期日程を受験する者は、外部検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。外部検定試験のみなし得点換算表は、決まり次第公表します。
- *5 工学部昼間コース電気電子システム工学科(前・後期日程)の配点は、大学入試センター試験の「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。
- *6 工学部昼間コース電気電子システム工学科(前・後期日程)の配点は、大学入試センター試験の「理科②」の高得点科目の成績を3倍して、合計400点とします。
- *7 工学部昼間コース電気電子システム工学科の前期日程の配点は、個別学力検査の「数学」と「理科」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。

【変更前】

学部	学科・課程等	日程	大学入試センター試験の利用教科・科目等			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											備考					
			教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	小論文	実技	面接		プレゼンテーション	集団活動	配点合計		
工学部	物質科学工学科	前期	国	国	1	A方式 個別学力検査は課しません (2科目受験した場合は、第1解答科目として解答した科目となります*)	センター試験	200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300									1300			
			地歴	世B、日B、地理B	から1		個別学力検査																0	
			公民	現社、倫、政経、倫・政経			計	200	100	300	400	300											1300	
			数	①数Ⅰ・数A	1		計2科目	センター試験	200	100	100	100	200(100+100)	200										900
				②数Ⅱ・数B	1			個別学力検査				150	150	100										400
			理	②物、化、生、地	から2		B方式 個別学力検査は課しません (5教科7科目) から1科目選択	理科*3	物(物理基礎・物理) 化(化学基礎・化学) 生(生物基礎・生物)	計	200	100	350	350	300									1300
		外	英	1	外国語*4	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ 英語表現Ⅰ)		計	200	100	500	200	400									1400		
		後期	A方式(大学入試センター試験のみ)合計点とB方式(大学入試センター試験及び個別学力検査)合計点を比較し高得点の点数を利用し、合否判定を行います。なお、個別学力検査未受験者は、A方式の合計点を利用し、合否判定を行います。																					
			数学*2	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B	センター試験	200	100	100	100	200(100+100)	250												950	
					個別学力検査				300	150												450		
			外国語*4	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ 英語表現Ⅰ)	計	200	100	500	200	400													1400	

- *1 工学部昼間コース物質科学工学科(前・後期日程)において大学入試センター試験で課す「地理歴史・公民」で2科目を受験した場合は「第1解答科目」として受験した科目の成績を用いるため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していないと出願することはできません。
- *2 工学部昼間コース物質科学工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容を指定します。【数B(数列、ベクトル)】
- *3 工学部昼間コース物質科学工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。
[物理]:物理基礎、物理の全項目を出題範囲とします。
[化学]:化学基礎、化学の全項目を出題範囲とします。
[生物]:生物基礎、生物の全項目を出題範囲とします。
- *4 工学部前期日程及び後期日程の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、外部検定試験のみなし得点と個別学力検査の得点を比較し、高得点の点数を採用します。
ただし、工学部前期日程B方式及び後期日程を受験する者は、外部検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。外部検定試験のみなし得点換算表は、p.38に示しています。
- *5 工学部昼間コース物質科学工学科(前期日程)の配点は、大学入試センター試験の「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。
- *6 工学部昼間コース物質科学工学科(前期日程)の配点は、大学入試センター試験の「理科②」の高得点科目の成績を3倍して、合計400点とします。



【変更後】

学部	学科・課程等	日程	大学入試センター試験の利用教科・科目等			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											備考					
			教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	小論文	実技	面接		プレゼンテーション	集団活動	配点合計		
工学部	物質科学工学科	前期	国	国	1	数学*2 理科*3 外国語*4 [5教科7科目]	センター試験	200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300									1300			
			地歴	世B、日B、地理B	から1		個別学力検査																400	
			公民	現社、倫、政経、倫・政経			計	200	100	1000	400												1700	
			数	①数Ⅰ・数A	1		計2科目	センター試験	200	100	100	100	200(100+100)	200										1300
				②数Ⅱ・数B	1			個別学力検査				300	100											400
			理	②物、化、生、地	から2		外国語*4	理科*3	物(物理基礎・物理) 化(化学基礎・化学) 生(生物基礎・生物)	計	200	100	600	400	400									1700
		外	英	1	外国語*4	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ 英語表現Ⅰ)		計	200	100	600	400	400									1700		
		後期	A方式(大学入試センター試験のみ)合計点とB方式(大学入試センター試験及び個別学力検査)合計点を比較し高得点の点数を利用し、合否判定を行います。なお、個別学力検査未受験者は、A方式の合計点を利用し、合否判定を行います。																					
			数学*2	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B	センター試験	200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300													1300	
					個別学力検査				300	100												400		
			外国語*4	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ 英語表現Ⅰ)	計	200	100	600	400	400													1700	

- *1 工学部昼間コース物質科学工学科(前・後期日程)において大学入試センター試験で課す「地理歴史・公民」で2科目を受験した場合は「第1解答科目」として受験した科目の成績を用いるため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していないと出願することはできません。
- *2 工学部昼間コース物質科学工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容を指定します。【数B(数列、ベクトル)】
- *3 工学部昼間コース物質科学工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。
[物理]:物理基礎、物理の全項目を出題範囲とします。
[化学]:化学基礎、化学の全項目を出題範囲とします。
[生物]:生物基礎、生物の全項目を出題範囲とします。
- *4 工学部前期日程及び後期日程の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、外部検定試験のみなし得点と個別学力検査の得点を比較し、高得点の点数を採用します。
ただし、工学部前期日程及び後期日程を受験する者は、外部検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。外部検定試験のみなし得点換算表は、決まり次第公表します。
- *5 工学部昼間コース物質科学工学科(前・後期日程)の配点は、大学入試センター試験の「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。
- *6 工学部昼間コース物質科学工学科(前・後期日程)の配点は、大学入試センター試験の「理科②」の高得点科目の成績を3倍して、合計400点とします。
- *7 工学部昼間コース物質科学工学科(前期日程)の配点は、個別学力検査の「数学」と「理科」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。

【変更前】

学部	学科・課程等	日程	大学入試センター試験の利用教科・科目等			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													備考			
			教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	小論文	実技	面接	プレゼンテーション	集団活動		配点合計		
工学部	情報工学科	前期	国	国	1	A方式 個別学力検査は課しません (2科目受験した場合は、第1解答科目として解答した科目となります*)	センター試験 個別学力検査 計	200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300									1300			
			地歴	世B、日B、地理B	から1																		0	
			公民	現社、倫、政経、倫・政経	から1																			1300
			数	①数Ⅰ・数A	1			計2科目	数学*2 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B	センター試験	200	100	100	100	200(100+100)	200								900
				②数Ⅱ・数B	1					個別学力検査				150		150	100							400
			理	②物、化、生、地	から2			B方式 個別学力検査は課しません (5教科7科目)	理科*3 物(物理基礎・物理) 化(化学基礎・化学) 生(生物基礎・生物) から1科目選択	計	200	100	350	350	300									1300
		外	英	1	外国語*4 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ 英語表現Ⅰ)																			
		後期	A方式(大学入試センター試験のみ)合計点とB方式(大学入試センター試験及び個別学力検査)合計点を比較し高得点の点数を利用し、合否判定を行います。なお、個別学力検査未受験者は、A方式の合計点を利用し、合否判定を行います。																					
			数	①数Ⅰ・数A	1	計2科目	数学*2 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B	センター試験	200	100	100	100	200(100+100)	250								950		
								個別学力検査				300		150							450			
			外	英	1	外国語*4 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ 英語表現Ⅰ)	計	200	100	500	200	400								1400				

- *1 工学部昼間コース情報工学科(前・後期日程)において大学入試センター試験で課す「地理歴史・公民」で2科目を受験した場合は「第1解答科目」として受験した科目の成績を用いるため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していないと出願することはできません。
- *2 工学部昼間コース情報工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」については、次のとおり内容を指定します。【数B(数列、ベクトル)】
- *3 工学部昼間コース情報工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。
[物理]:物理基礎、物理の全項目を出題範囲とします。
[化学]:化学基礎、化学の全項目を出題範囲とします。
[生物]:生物基礎、生物の全項目を出題範囲とします。
- *4 工学部前期日程B方式及び後期日程の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、外部検定試験のみなし得点と個別学力検査の得点を比較し、高得点の点数を採用します。
ただし、工学部前期日程B方式及び後期日程を受験する者は、外部検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。外部検定試験のみなし得点換算表は、p.38に示しています。
- *5 工学部昼間コース情報工学科の前期日程(A方式)の配点は、大学入試センター試験の「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。
- *6 工学部昼間コース情報工学科の前期日程(A方式)の配点は、大学入試センター試験の「理科②」の高得点科目の成績を3倍して、合計400点とします。



【変更後】

学部	学科・課程等	日程	大学入試センター試験の利用教科・科目等			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													備考			
			教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	小論文	実技	面接	プレゼンテーション	集団活動		配点合計		
工学部	情報工学科	前期	国	国	1	A方式 個別学力検査は課しません (2科目受験した場合は、第1解答科目として解答した科目となります*)	センター試験 個別学力検査 計	200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300									1300			
			地歴	世B、日B、地理B	から1																		400	
			公民	現社、倫、政経、倫・政経	から1																			1700
			数	①数Ⅰ・数A	1			計2科目	理科*3 物(物理基礎・物理) 化(化学基礎・化学) 生(生物基礎・生物) から1科目選択	センター試験	200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300									1300
				②数Ⅱ・数B	1					個別学力検査				300		100							400	
			理	②物、化、生、地	から2			B方式 個別学力検査は課しません (5教科7科目)	外国語*4 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ 英語表現Ⅰ)	計	200	100	600	400	400									1700
		外	英	1																				
		後期	A方式(大学入試センター試験のみ)合計点とB方式(大学入試センター試験及び個別学力検査)合計点を比較し高得点の点数を利用し、合否判定を行います。なお、個別学力検査未受験者は、A方式の合計点を利用し、合否判定を行います。																					
			数	①数Ⅰ・数A	1	計2科目	数学*2 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B	センター試験	200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300									1300		
								個別学力検査				300		100							400			
			外	英	1	外国語*4 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ 英語表現Ⅰ)	計	200	100	600	400	400								1700				

- *1 工学部昼間コース情報工学科(前・後期日程)において大学入試センター試験で課す「地理歴史・公民」で2科目を受験した場合は「第1解答科目」として受験した科目の成績を用いるため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していないと出願することはできません。
- *2 工学部昼間コース情報工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」については、次のとおり内容を指定します。【数B(数列、ベクトル)】
- *3 工学部昼間コース情報工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。
[物理]:物理基礎、物理の全項目を出題範囲とします。
[化学]:化学基礎、化学の全項目を出題範囲とします。
[生物]:生物基礎、生物の全項目を出題範囲とします。
- *4 工学部前期日程及び後期日程の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、外部検定試験のみなし得点と個別学力検査の得点を比較し、高得点の点数を採用します。
ただし、工学部前期日程及び後期日程を受験する者は、外部検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。外部検定試験のみなし得点換算表は、決まり次第公表します。
- *5 工学部昼間コース情報工学科(前・後期日程)の配点は、大学入試センター試験の「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。
- *6 工学部昼間コース情報工学科(前・後期日程)の配点は、大学入試センター試験の「理科②」の高得点科目の成績を3倍して、合計400点とします。
- *7 工学部昼間コース情報工学科の前期日程の配点は、個別学力検査の「数学」と「理科」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。

【変更前】

学部	学科・課程等	日程	大学入試センター試験の利用教科・科目等			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													備考																									
			教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	小論文	実技	面接	プレゼンテーション	集団活動		配点合計																								
工学部	都市システム工学科	前期	国	国	1	A方式 個別学力検査は課しません センター試験 個別学力検査 計	センター試験 200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300												1300																							
			地歴	世B、日B、地理B	から1																			(2科目受験した場合は、第1解答科目として解答した科目となります*)	個別学力検査															0						
			公民	現社、倫、政経、倫・政経																					センター試験	200	100	100	100	200(100+100)	200											900				
			数	①数Ⅰ・数A	1																			計2科目	個別学力検査				150		150	100											400			
				②数Ⅱ・数B	1																				計	200	100		350		350	300											1300			
			理	②物、化、生、地	物理かつ物理以外を1(計2科目)																			理科*3	物(物理基礎・物理)		B方式 個別学力検査は課しません センター試験 個別学力検査 計	200	100	300	100	200(100+100)	250									950				
		外	英	1	(5教科7科目)	外国語*4	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ)		個別学力検査			300		150									450																							
		A方式(大学入試センター試験のみ)合計点とB方式(大学入試センター試験及び個別学力検査)合計点を比較し高得点の点数を利用し、合否判定を行います。なお、個別学力検査未受験者は、A方式の合計点を利用し、合否判定を行います。																																												
													計	200	100	500	200	400								1400																				
													センター試験	200	100	100	100	200(100+100)	250																										950	
													個別学力検査						150																										450	
													計	200	100	500	200	400											1400																	
											センター試験	200	100	100	100	200(100+100)	250												950																	
											個別学力検査						150											450																		
											計	200	100	500	200	400												1400																		

- *1 工学部昼間コース都市システム工学科(前・後期日程)において大学入試センター試験で課す「地理歴史・公民」で2科目を受験した場合は「第1解答科目」として受験した科目の成績を用いるため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していないと出願することはできません。
- *2 工学部昼間コース都市システム工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容を指定します。【数B(数列、ベクトル)】
- *3 工学部昼間コース都市システム工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。
[物理]:物理基礎、物理の全項目を出題範囲とします。
- *4 工学部前期日程B方式及び後期日程の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、外部検定試験のみなし得点と個別学力検査の得点を比較し、高得点の点数を採用します。
ただし、工学部前期日程B方式及び後期日程を受験する者は、外部検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。外部検定試験のみなし得点換算表は、p.38に示しています。
- *5 工学部昼間コース都市システム工学科の前期日程(A方式)の配点は、大学入試センター試験の「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。
- *6 工学部昼間コース都市システム工学科の前期日程(A方式)の配点は、大学入試センター試験の「理科②」の高得点科目の成績を3倍して、合計400点とします。



【変更後】

学部	学科・課程等	日程	大学入試センター試験の利用教科・科目等			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													備考																																						
			教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	小論文	実技	面接	プレゼンテーション	集団活動		配点合計																																					
工学部	都市システム工学科	前期	国	国	1	数学*2 個別学力検査は課しません センター試験 個別学力検査 計	センター試験 200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300													1300																																			
			地歴	世B、日B、地理B	から1																				(2科目受験した場合は、第1解答科目として解答した科目となります*)	個別学力検査			300((200)+100)*7	100											400																		
			公民	現社、倫、政経、倫・政経																						理科*3	物(物理基礎・物理)		計	200	100		1000		400									1700															
			数	①数Ⅰ・数A	1																				計2科目	外国語*4	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ)		センター試験 個別学力検査 計	200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300											1300														
				②数Ⅱ・数B	1																					計	200	100																			300		100										
			理	②物、化、生、地	物理かつ物理以外を1(計2科目)																				数学*2	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B		個別学力検査																															
		外	英	1	(5教科7科目)	外国語*4	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ)		計	200	100		600		400		400									1700																																	
		A方式(大学入試センター試験のみ)合計点とB方式(大学入試センター試験及び個別学力検査)合計点を比較し高得点の点数を利用し、合否判定を行います。なお、個別学力検査未受験者は、A方式の合計点を利用し、合否判定を行います。																																																									
													センター試験	200	100	300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300										1300																															
													個別学力検査						100										400																														
													計	200	100	600	400	400											1700																														

- *1 工学部昼間コース都市システム工学科(前・後期日程)において大学入試センター試験で課す「地理歴史・公民」で2科目を受験した場合は「第1解答科目」として受験した科目の成績を用いるため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していないと出願することはできません。
- *2 工学部昼間コース都市システム工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容を指定します。【数B(数列、ベクトル)】
- *3 工学部昼間コース都市システム工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。
[物理]:物理基礎、物理の全項目を出題範囲とします。
- *4 工学部前期日程及び後期日程の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、外部検定試験のみなし得点と個別学力検査の得点を比較し、高得点の点数を採用します。
ただし、工学部前期日程及び後期日程を受験する者は、外部検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。外部検定試験のみなし得点換算表は、決まり次第公表します。
- *5 工学部昼間コース都市システム工学科(前・後期日程)の配点は、大学入試センター試験の「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。
- *6 工学部昼間コース都市システム工学科(前・後期日程)の配点は、大学入試センター試験の「理科②」の高得点科目の成績を3倍して、合計400点とします。
- *7 工学部昼間コース都市システム工学科の前期日程の配点は、個別学力検査の「数学」と「理科」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。

【変更前】

学部	学科・課程等	日程	大学入試センター試験の利用教科・科目等			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													備考			
			教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	小論文	実技	面接	プレゼンテーション	集団活動		配点合計		
工学部	フレックスコース	前期	国	国	1	A方式 個別学力検査は課しません ②科目受験した場合は、第1解答科目として解答した科目となります*1)	センター試験 個別学力検査 計	200	100		300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300								1300			
			地歴	世B、日B、地理B	から1																		0	
			公民	現社、倫、政経、倫・政経																				1300
			数	①数Ⅰ・数A	1			計2科目	B方式 個別学力検査 計	200	100		100	100	200(100+100)	200								900
				②数Ⅱ・数B	1									150		150	100							
			理	②物、化、生、地	1			物理かつ物理以外を1(計2科目)	理科*3 物(物理基礎・物理)	200	100		350		350	300								1300
		外	英	1		外国語*4 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ)																		
		(5教科7科目)																						
		A方式(大学入試センター試験のみ)合計点とB方式(大学入試センター試験及び個別学力検査)合計点を比較し高得点の点数を利用し、合否判定を行います。なお、個別学力検査未受験者は、A方式の合計点を利用し、合否判定を行います。																						
		後期	前期	数	①数Ⅰ・数A	1	計2科目	B方式 個別学力検査 計	200	100	100	100	200(100+100)	250								950		
					②数Ⅱ・数B	1									300	150							450	
		後期	後期	数	①数Ⅰ・数A	1	計2科目	B方式 個別学力検査 計	200	100	500		200	400								1400		
②数Ⅱ・数B	1																							

- *1 工学部フレックスコース機械システム工学科(前・後期日程)において大学入試センター試験で課す「地理歴史・公民」で2科目を受験した場合は「第1解答科目」として受験した科目の成績を用いるため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していないと出願することはできません。
- *2 工学部フレックスコース機械システム工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容をご指定します。【数B(数列、ベクトル)】
- *3 工学部フレックスコース機械システム工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。
【物理】:物理基礎、物理の全項目を出題範囲とします。
- *4 工学部前期日程B方式及び後期日程の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、外部検定試験のみなし得点と個別学力検査の得点を比較し、高得点の点数を採用します。
ただし、工学部前期日程B方式及び後期日程を受験する者は、外部検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。外部検定試験のみなし得点換算表は、p.38に示しています。
- *5 工学部フレックスコース機械システム工学科の前期日程(A方式)の配点は、大学入試センター試験の「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。
- *6 工学部フレックスコース機械システム工学科の前期日程(A方式)の配点は、大学入試センター試験の「理科②」の高得点科目の成績を3倍して、合計400点とします。



【変更後】

学部	学科・課程等	日程	大学入試センター試験の利用教科・科目等			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													備考			
			教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	小論文	実技	面接	プレゼンテーション	集団活動		配点合計		
工学部	フレックスコース	前期	国	国	1	A方式 個別学力検査は課しません ②科目受験した場合は、第1解答科目として解答した科目となります*1)	センター試験 個別学力検査 計	200	100		300((200)+100)*5	400((300)+100)*6	300								1300			
			地歴	世B、日B、地理B	から1																		400	
			公民	現社、倫、政経、倫・政経																				1700
			数	①数Ⅰ・数A	1			計2科目	B方式 個別学力検査 計	200	100		1000		400									
				②数Ⅱ・数B	1																			
			理	②物、化、生、地	1			物理かつ物理以外を1(計2科目)	理科*3 物(物理基礎・物理)	200	100		600		400	300								1300
		外	英	1		外国語*4 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ)																		
		(5教科7科目)																						
		後期	前期	数	①数Ⅰ・数A	1	計2科目	B方式 個別学力検査 計	200	100	300	300	400((300)+100)*6	300								1300		
					②数Ⅱ・数B	1									300	100								400
		後期	後期	数	①数Ⅰ・数A	1	計2科目	B方式 個別学力検査 計	200	100	600		400	400								1700		
					②数Ⅱ・数B	1																		

- *1 工学部フレックスコース機械システム工学科(前・後期日程)において大学入試センター試験で課す「地理歴史・公民」で2科目を受験した場合は「第1解答科目」として受験した科目の成績を用いるため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していないと出願することはできません。
- *2 工学部フレックスコース機械システム工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容をご指定します。【数B(数列、ベクトル)】
- *3 工学部フレックスコース機械システム工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。
【物理】:物理基礎、物理の全項目を出題範囲とします。
- *4 工学部前期日程及び後期日程の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、外部検定試験のみなし得点と個別学力検査の得点を比較し、高得点の点数を採用します。
ただし、工学部前期日程及び後期日程を受験する者は、外部検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。外部検定試験のみなし得点換算表は、決まり次第公表します。
- *5 工学部フレックスコース機械システム工学科(前・後期日程)の配点は、大学入試センター試験の「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。
- *6 工学部フレックスコース機械システム工学科(前・後期日程)の配点は、大学入試センター試験の「理科②」の高得点科目の成績を3倍して、合計400点とします。
- *7 工学部フレックスコース機械システム工学科の前期日程の配点は、個別学力検査の「数学」と「理科」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。

※ 今後変更がある場合は、本学ホームページ等において公表します。